



次世代★ヒーロー

はまぐち りょう
濱口 怜 くん

第35回全国小学生陸上競技交流大会 小学男子コンバインドBに出場

未来へ進め！ 次世代ヒーロー！
今回は、8月に横浜市で行なわれた第35回全国小学生陸上競技交流大会の小学男子コンバインドB(走り幅跳びとジャベリックボール投げの2種目からなる競技)に出場した熊野小学校6年の濱口怜くんを紹介します。
濱口くんは、6月の県予選会で走り幅跳び4歳30、ジャベリックボール投げ47歳67で参加39人中、各種目で1位の記録を残して優勝し全国大会への出場権を勝ち取りました。
下関ふくっ子陸上クラブスポーツ少年団に所属しており、下関陸上競技場で週2回の練習に取り組んでいます。「全国大会では入賞できなくて悔しかったですが、いい経験になりました」と濱口くん。「中学では、陸上部に入り、将来は幅跳びで日本一になることが夢です」と目を輝かせていました。



ロケットの形をした、ジャベリックボールを投げる濱口くん



二人の兄が陸上をしていたことから興味を持ち、小学1年から始める

柔道 トルコチーム 来関！



今回の経験をもとに、将来オリンピックを目指す選手が現れるとうれしいですね。
世界柔道選手権では、トルコの選手に贈った「下関」と肩に刺繍した柔道着を着て戦った選手もいて、非常にうれしく思いました。
来年のオリンピックでも、トルコチームをしっかりとサポートするとともに、交流の成果を下関市の明るい未来につなげたいと思います。



市長コラム 希望の風 市長の部屋

こんにちは。市長の前田晋太郎です。
8月の世界柔道選手権をご覧になりましたか。下関出身の原沢久喜選手が銀メダルを獲得しましたね。多くの方々にも感動を与えてくれた戦いぶりとその雄姿に、熱い感謝とエールを送りたいと思います。
ところで、下関は、世界柔道選手権と東京オリンピックでのトルコの柔道代表チームの事前キャンプ地となっています。私がトルコを訪問し、イスタンブール市との姉妹都市締結45周年式典に参加した際、市長に直接事前キャンプのお願いをしたところ、国や多くの関係機関のご協力のおかげで、下関市を選んできたことができました。
今回の事前キャンプでは、本市出身でロンドンオリンピック銅メダリストの西山将士さんにも参加していただき、市内の柔道スポーツ少年団員約120人とトルコの選手との乱取りなどで交流しました。国内の代表選手と触れ合うことすら難しいなか、子どもたちは素晴らしい経験ができたのではないのでしょうか。